

各位

マネックス・ビーンズ・ホールディングス株式会社
代表取締役社長 CEO 松本 大
(コード番号 8698 東証マザーズ)

あすかアセットマネジメントリミテッド
チーフエグゼクティブオフィサー 谷家 衛

オルタナティブ投資商品企画・運営会社の設立に関するお知らせ

マネックス・ビーンズ・ホールディングス株式会社（以下「MBH」）及びあすかアセットマネジメントリミテッド（以下「あすか」）は、共同出資によりオルタナティブ投資商品の企画・運営会社である「マネックス・オルタナティブ・インベストメンツ株式会社」を設立することに合意いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、伝統的な資本市場である株式・債券市場の肥大化と金融技術の進歩を背景に、伝統的資本市場商品以外の、より良好なリスク・リターン・プロファイルを持った投資対象の模索が活発となっています。その中で、ヘッジファンド等に代表されるいわゆる「オルタナティブ投資（代替投資）商品」が特に注目を集めてきました。オルタナティブ投資商品には様々な商品の広がりや市場規模の拡大が見られますが、これまでは機関投資家等限られた投資家層のみが購入可能でした。しかしながら、ペイオフ解禁、年金制度・退職金税制改革、低金利などの諸環境の中で、個人投資家にとってもオルタナティブ投資商品への関心は日増しに高まっていると考えられます。今般設立する会社は、広く個人投資家にまで販売することを目的とし、オルタナティブ投資商品を企画・運営していくものです。

常に個人投資家の視点に立ってきたMBHグループと、世界水準の運用商品を提供してきた「あすか」の協力により、これまで個人投資家がアクセスすらできなかった新たな投資商品の提供が可能となります。今回設立する新会社をとおして、MBHは個人向け金融商品・サービスの更なる充実と他社との一層の差別化を図ると共に、将来的には株式市場のみに依存しない大きな収益源に育てていきたいと考えています。「あすか」は、我が国におけるオルタナティブ投資の健全な育成に貢献すると共に、当該分野におけるリーディング・ポジションを確立したいと考えています。

記

設立する会社の概要：

- | | |
|------------|---|
| (1) 会社名称 | マネックス・オルタナティブ・インベストメンツ株式会社
(Monex Alternative Investments, Inc.) |
| (2) 代表者 | 代表取締役 内藤 忍
(マネックス証券株式会社CEO室企画マネジャー(資産設計担当)) |
| (3) 所在地 | 東京都千代田区丸の内一丁目11番1号 |
| (4) 出資者 | マネックス・ビーンズ・ホールディングス株式会社 51%
あすかアセットマネジメントリミテッド 49% |
| (5) 資本金 | 4,000万円 |
| (6) 主な事業内容 | オルタナティブ投資商品の企画・運営 |

以上

補足資料：

<マネックス・ビーンズ・ホールディングス株式会社の概要>

商号 : マネックス・ビーンズ・ホールディングス株式会社
Monex Beans Holding, Inc.
本店所在地 : 東京都千代田区丸の内一丁目 11 番 1 号
代表者 : 代表取締役社長 CEO 松本 大
資本金 : 8,800 百万円
主要株主 : ソニー株式会社
株式会社日興コーディアルグループ
松本 大

証券子会社における顧客預かり資産 : 1 兆 3183 億円 (2004 年 9 月末現在)

<あすかアセットマネジメントリミテッドの概要>

商号 : あすかアセットマネジメントリミテッド
Asuka Asset Management, Ltd.
本店所在地 : 英領バージン諸島
国内営業所 : 東京都港区赤坂二丁目 3 番 4 号 ランディック赤坂ビル 8 階
代表者 : チーフエグゼクティブオフィサー 谷家 衛
資本金 : 810 百万円 (日本における持込み資本金)
株主 : 谷家 衛、ほか三者
業務内容 : 投資顧問業務、投資一任業務
運用資産額 : 593 億円 (2004 年 10 月 1 日現在)

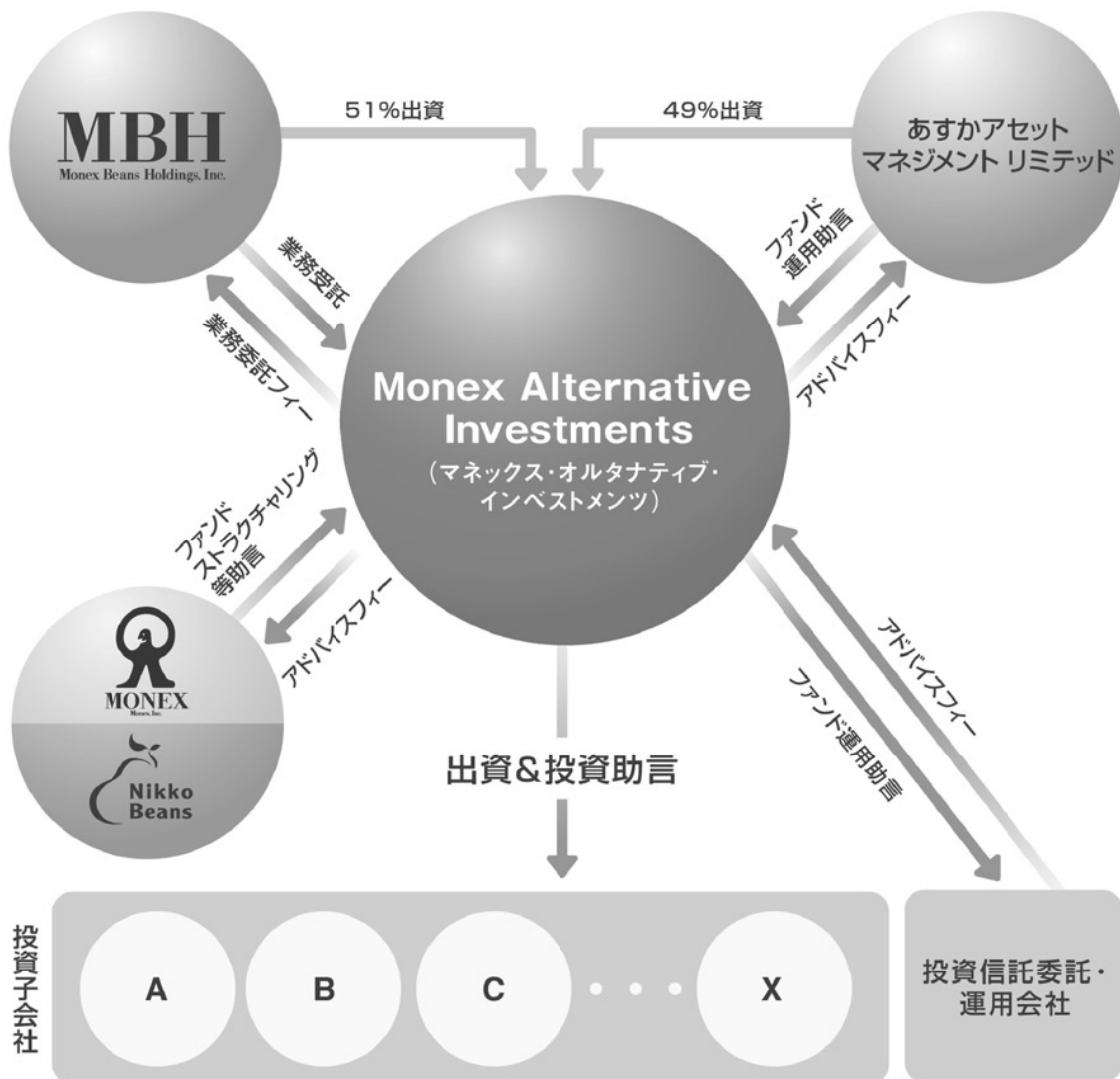
【備考】

前身は米国の大手ヘッジファンドであるチューダー・インベストメント・コーポレーションの日本拠点であり、“あすか”現経営陣のバイアウトによって 2002 年 7 月に社名をあすかアセットマネジメントに変更。主な投資一任契約として、2002 年 9 月に「あすか日本株ロングショートファンド」、同 10 月に「あすかオポチュニティーズファンド」の運用を開始。経営陣は、ソロモン・スミス・バーニー証券東京支店において株式・債券の自己勘定取引部門を統括 (1997-1998 年) した後、チューダー・インベストメントの日本拠点の創設に参画し投資業務を展開 (1999-2002 年) した、伝統的運用からオルタナティブ投資まで豊富な経験と実績を持つ日本人プロフェッショナル。日本をベースとした質の高い情報収集力・分析力と外資系インベストメントバンクおよびヘッジファンドでの実績に基づくグローバルなネットワークを兼ね備える。

【オルタナティブ投資とは】

株式・債券等の従来型の投資手法と異なる運用手法をとる投資をさし、ベンチャーキャピタル (VC) ファンド、ヘッジファンド、プライベートエクイティ (PE) ファンド、不動産ファンド等がこの範疇にはいります。米国では1980年代以降機関投資家・富裕層を中心にオルタナティブ投資が開始され、90年代に入り投資環境整備が進むにつれ、爆発的な速度で増加しています。我が国でも、90年代後半以降海外のヘッジファンドを中心に新たな投資商品として紹介され、2000年代に入ると和製ヘッジファンド、PEファンド、不動産ファンドも、数多く設定されてきています。市場規模としては、海外のヘッジファンドだけで7,000以上のファンドが設定されており、我が国でもPEファンド、不動産ファンドの急速な増加と景気回復に伴うVCファンドの復活等の要因により3兆円~4兆円規模になっています。

<想定されるスキーム図>



【お問合せ先】

マネックス・ビーンズ・ホールディングス株式会社
CEO室 広報・IR担当 牧野紀子 電話 03-6212-3750